

にじだより



わたしたちを知ってください

わたしたちは「別府リハビリテーションセンターにじ」です。思いがけない病気やけがによって障害が残った方々の社会参加のお手伝いをしています。九州内でも数少ない入所型の訓練施設です。身体障害や高次脳機能障害がある方を対象に「少しでも以前の生活を取り戻したい」と願うみなさまのお力になりたいと考えています。

“施設”というバリアフリーで見守りがある環境から、外出や外泊など社会経験を少しずつ積み重ねていながら地域で生活する練習をしていきます。



利用者5名の手芸合作作品

利用前のみなさまのお声

病院のリハビリ期間がもうすぐ終了するが、もう少し訓練ができないだろうか…

病気で退職になったが、できることを見つけないか

言葉の障害が残った、コミュニケーションの訓練をしたい

自動車運転を再開したい

高次脳機能障害で記憶障害が残った



障害の症状や程度はお一人お一人違い、目標も人それぞれです。その方の目標に寄り添う気持ちで一緒に訓練に取り組んでいます。

ご利用された方のご紹介

大分県内に住む40代の男性、土木関係のお仕事をしながら奥様と穏やかに生活をされていました。ある日突然、脳出血となり利き手である右手足の麻痺と失語症が残りました。病院でのリハビリを終え、もう少しリハビリをするためににじを利用することとなりました。入所された直後は、涙することも多く、奥様が大きな心の支えとなっていました。

「身体機能」や「歩行」訓練に取り組み、
「革工芸」では障害者の作品展に出品するほどの腕まえになりました。
訓練の時間以外にも書字練習や発声練習に励まれました。

「片麻痺でもできる場所を見せたい！」

笑顔が増え、意欲的になり、公共交通機関を使って外出できるようになりました。さらに「自動車訓練」で運転も出来るようになりました。

目標であった一般就労は叶いませんでしたが、障害者の事業所で働き、お給料と障害年金で奥様と一緒に生活されています。

にじで身につけた革工芸が趣味となり週末には奥様と一緒にドライブに行くことが楽しくなっています。今でもたまに近況報告を伝えてくれています。またご連絡楽しみにお待ちしております！

